

PRESS RELEASE

アーティスト YOSHIROTTEN の新境地となる過去最大規模個展
「ヨシロットン展 彼方との交信／BEYOND EARTH」
虎ノ門ヒルズ TOKYO NODE にて開催決定

JAXA 企画協力。地上約 200m の高層ギャラリーを宇宙船に見立て、宇宙から地底まで、
身体では知覚できない「彼方」の世界を体験するプロジェクト



〈ヨシロットン展 彼方との交信／BEYOND EARTH〉Key Image

森ビル株式会社、株式会社 YAR（ヤール）、株式会社博展は、2026年10月30日（金）～2027年1月11日（月・祝）の期間、虎ノ門ヒルズの情報発信拠点・TOKYO NODE（東京ノード）にて、アーティスト・YOSHIROTTEN（ヨシロットン）による個展「ヨシロットン展 彼方との交信／BEYOND EARTH」を開催します。

会場は虎ノ門ヒルズステーションタワー45階のTOKYO NODE GALLERY A/B/C。本展は、YOSHIROTTENにとって新たな表現領域へと踏み出す過去最大規模の個展です。

YOSHIROTTEN は、20年ほどのキャリアを通して、グラフィックデザイン、アートディレクション、映像、演出から空間設計まで活動を拡張しながら、ファインアートの実践も重ねてきました。東京の豊かな文化的土壌の中で、音楽、ファッション、アート、そしてその境界を飄々と歩きながら、独自の視覚言語を確立し国際的に活動しています。本展では、自然、宇宙、光、色彩といった、YOSHIROTTEN が深く関心を寄せる題材を横断しながら一貫して探求してきた「見えないものの可視化」をテーマに、《RGB》《FUTURE NATURE》《SUN》など代表的なシリーズを軸に、その表現をさらに大きな規模へと発展させます。

会場となる TOKYO NODE GALLERY は、地上約 200m に位置します。この空間全体をひとつの宇宙船に見立て、身体では知覚できない「彼方」と出会う場所として構想される本展では、宇宙・地球・都市のデータがイメージや映像、そして光へと変換される大型アートインスタレーションになります。人類が「彼方」を求めて積み重ねてきた情報や記録が、見たことのない景色として立ち現れる TOKYO NODE ならではの新たな展覧会体験を創出します。

さらに、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の企画協力により、人工衛星が取得したブラックホールなどの天体のデータを用いた作品にも挑戦し、アート、テクノロジー、サイエンスが交差するプロジェクトとしても展開します。

加えて、YOSHIROTTEN が、これまで東京のアンダーグラウンドからメインストリームまで、大小を問わず数多くのブランド、メディア、ミュージシャンと協業しながら築いてきた文脈やコミュニティも、本展の重要な背景です。会期中にはコラボレーションや特別イベントの実施も予定しており、展覧会の枠を超えた複層的なプロジェクトとして発展させます。

TOKYO NODE は、あらゆる領域を超えて新たなものを生み出す拠点として、本展を通じて虎ノ門ヒルズから世界に向けて新しい創造性を発信してまいります。YOSHIROTTEN の実践が到達した境地であり、同時に次なる表現の起点ともなる本展に、ぜひご注目ください。

WEB : <https://www.tokyonode.jp/events/yoshirotten/index.html>

広報素材 : <https://moribuilding.box.com/s/xv3yviqzdx5gsvlud75onha88r2nej>

本件に関するお問い合わせ

ヨシロットン展 PR 事務局（Pred PR 内）

E-Mail : predpr@predpr.com TEL : 03-5428-6484

開催概要

- 名称：ヨシロットン展 彼方との交信／BEYOND EARTH
- 会期：2026年10月30日（金）～2027年1月11日（月・祝）
- 会場：TOKYO NODE GALLERY A/B/C（虎ノ門ヒルズ ステーションタワー 45階）
- 入場料：後日詳細発表
- 主催：森ビル株式会社、株式会社 YAR、株式会社博展
- 企画協力：宇宙航空研究開発機構（JAXA）

展覧会コンセプト

「ヨシロットン展 彼方との交信／BEYOND EARTH」について

「彼方」— どこか遠い場所や時間、今ここではないどこか。

目には見えず、身体では踏み込むことのできない世界。

「交信」— 離れた相手と、光・音・電波などの符号を用いて意思疎通する手段。

YOSHIROTTEN は、神話と科学が共存する場所—日本初の人工衛星打ち上げの地、鹿児島・大隅半島で育ち、手付かずの自然と宇宙への眼差しが交差する環境の中でその感性を培った。この20年間ほどは日本の経済・技術の集積地で夜も発光し続ける街—東京を拠点に、色彩や光、天体などの存在をめぐるリサーチと仮説を積み重ね、「見えないものの可視化」をひとつの軸として作品を生み出してきた。そうした実践がいま、地上200mに位置する TOKYO NODE に到達する。膨大なデータの中で感覚を研ぎ澄ませながら積み重ねてきた探求が、宇宙へとその輪郭を広げる。

YOSHIROTTEN が描く景色には、一貫して「彼方」の存在がある。そこにいる誰かと繋がるための「交信と符号」が作品として立ち現れる。「彼方」とは、霊的な知覚や空間、そして科学が探求する宇宙の果ての現象までを包括する概念であり、「交信と符号」はそのような領域の出来事を私たちが知覚できる何かへと変換する装置の

ような作品群、あるいは「彼方にいる誰か」に関する仮説である。YOSHIROTTEN は、TOKYO NODE の高層階からの眺めを目にした時の感覚を次のように語る。「巨大都市東京は、無数の光と情報が循環するひとつの巨大な装置であり、まるで地表に存在する一隻の宇宙船のようでもある。地上で生まれる膨大なデータと人間の活動が、宇宙へ向けて静かに放射されている。この都市から宇宙へと意識を接続する。東京という巨大な観測点から、遠い星の記憶、宇宙の信号、そして未来の可能性へとひとつの交信を試みる」

本展は、科学が捉えてきた宇宙や地球の情報・記録を、人間の身体を通して万物の秩序・記憶として受容するための舞台装置である。そこでは、人類が科学と霊性を通じて「彼方」へと積み重ねてきた営みが、YOSHIROTTEN の眼差しによって抽象としての符号となり、見たことのない景色として立ち現れる。

本展の見どころ

● TOKYO NODE を「宇宙船」に見立て、まだ見ぬ「彼方」と出会う光と映像のインスタレーション

地上約 200m というロケーションに広がる高層ギャラリー全体を、ひとつの宇宙船と見立てます。大型 LED やモニター、ネオン管など発光する素材を用いて展開される作品群は、宇宙・地球・都市のデータを光・色・映像へと変換します。大型インスタレーションが空間を満たし、人類が「彼方」を求めて積み重ねてきた情報が、この場所ではしか体験できない唯一無二の光景として目の前に現れます。

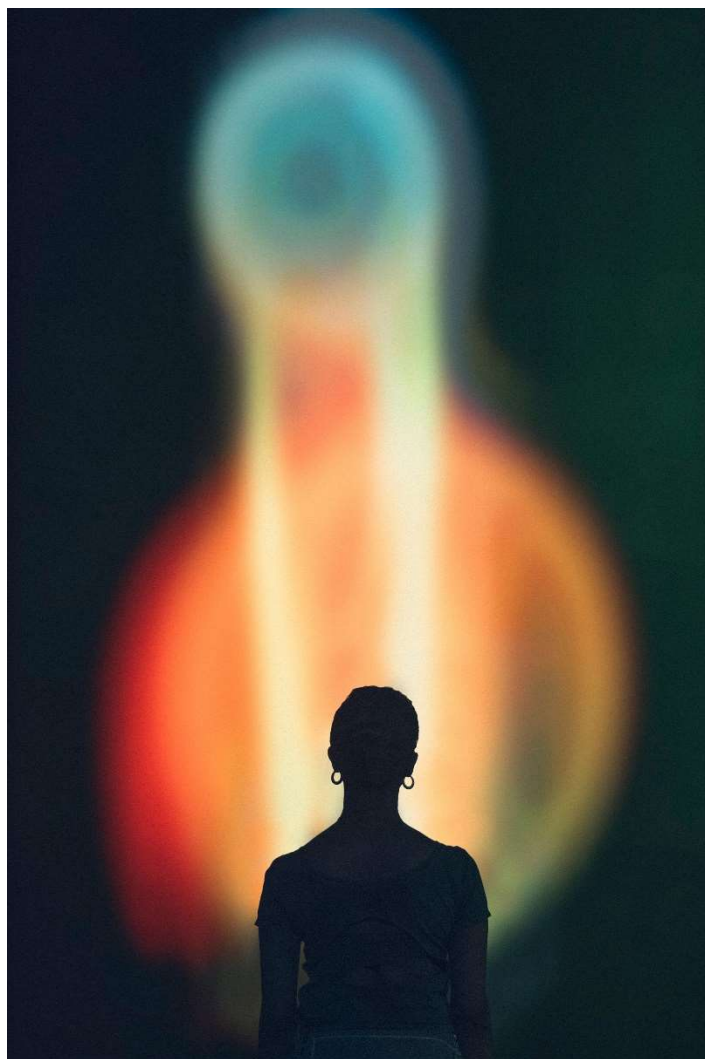
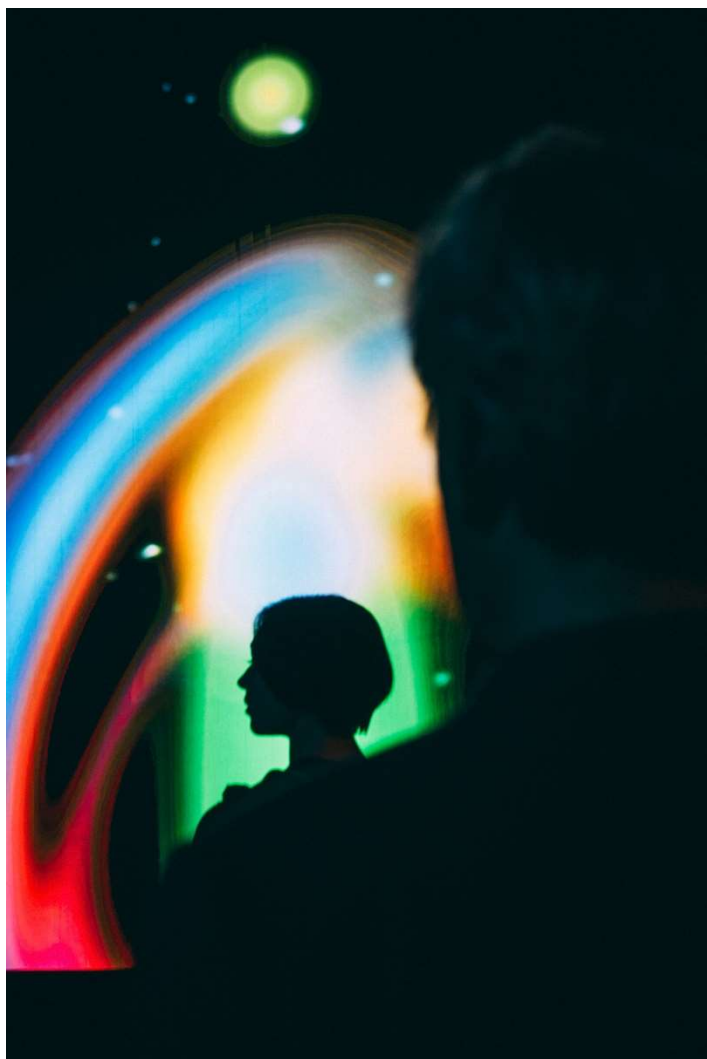
● JAXA 企画協力。宇宙の観測データを視覚化するアート

宇宙航空研究開発機構（JAXA）の企画協力のもと、人工衛星が取得したブラックホールや中性子星などの天体の観測データを独自の視覚表現へと変換する新作を発表します。YOSHIROTTEN の作品世界に組み込まれた宇宙・地球の数値やデータ、ストーリーが鑑賞者に新しい感覚を創出します。また、実際の研究施設で使用されていた JAXA の機材・装置が YOSHIROTTEN の作品として構成・展示されます。

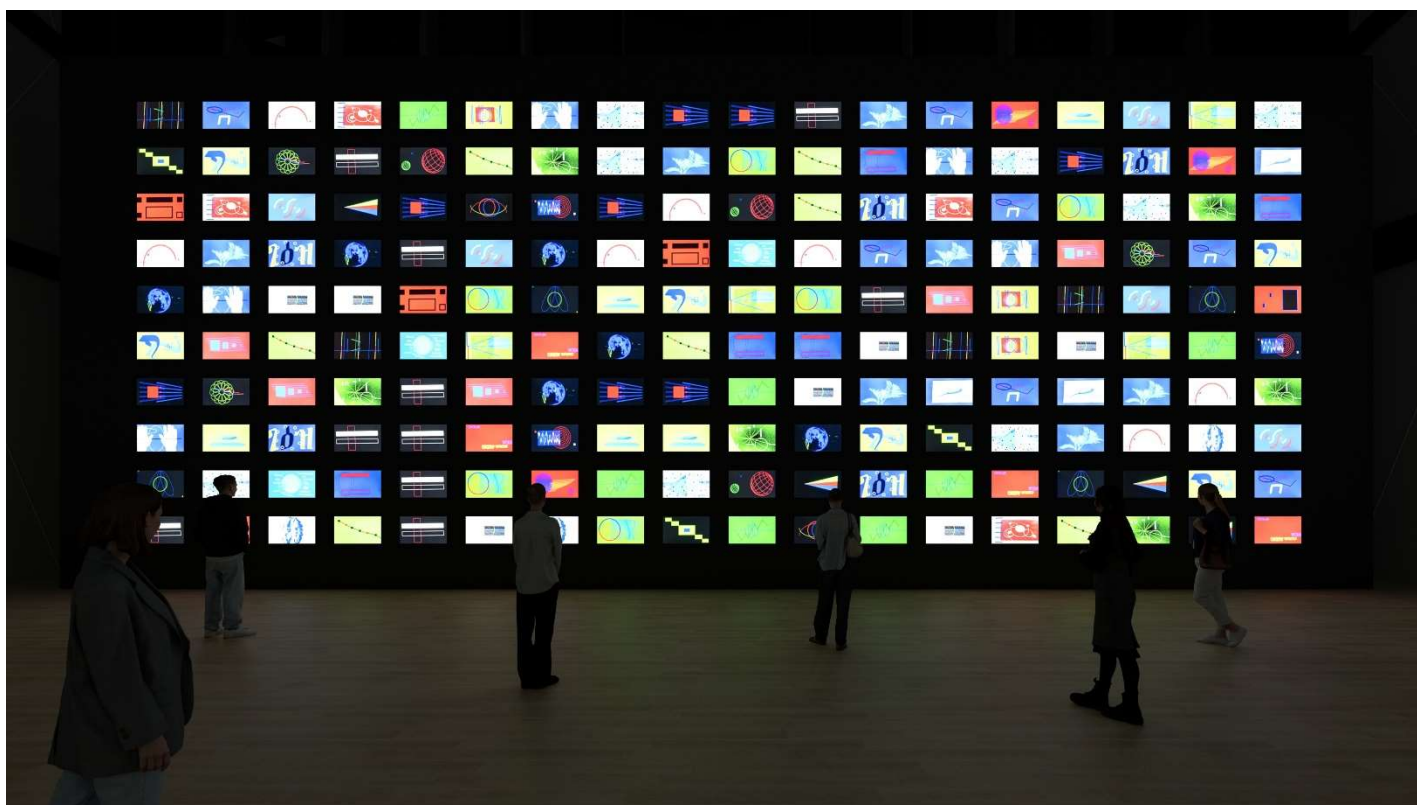
● 一望することで浮かび上がる、YOSHIROTTEN の世界の輪郭

「見えないものの可視化」をテーマに、過去 10 年間にわたって制作・発表してきた《RGB》《FUTURE NATURE》《SUN》— YOSHIROTTEN を代表する 3 シリーズの最新作を同時に体験できる空間が現れます。それぞれ異なる題材と手法で「彼方」へと向かいながら、ひとつの場所で交差することで、YOSHIROTTEN の創作の全体像が浮かび上がります。

【本展イメージ】



〈ヨシロットン展 彼方との交信／BEYOND EARTH〉 Supplementary Image



〈ヨシロットン展 彼方との交信／BEYOND EARTH〉 Exhibition Plan

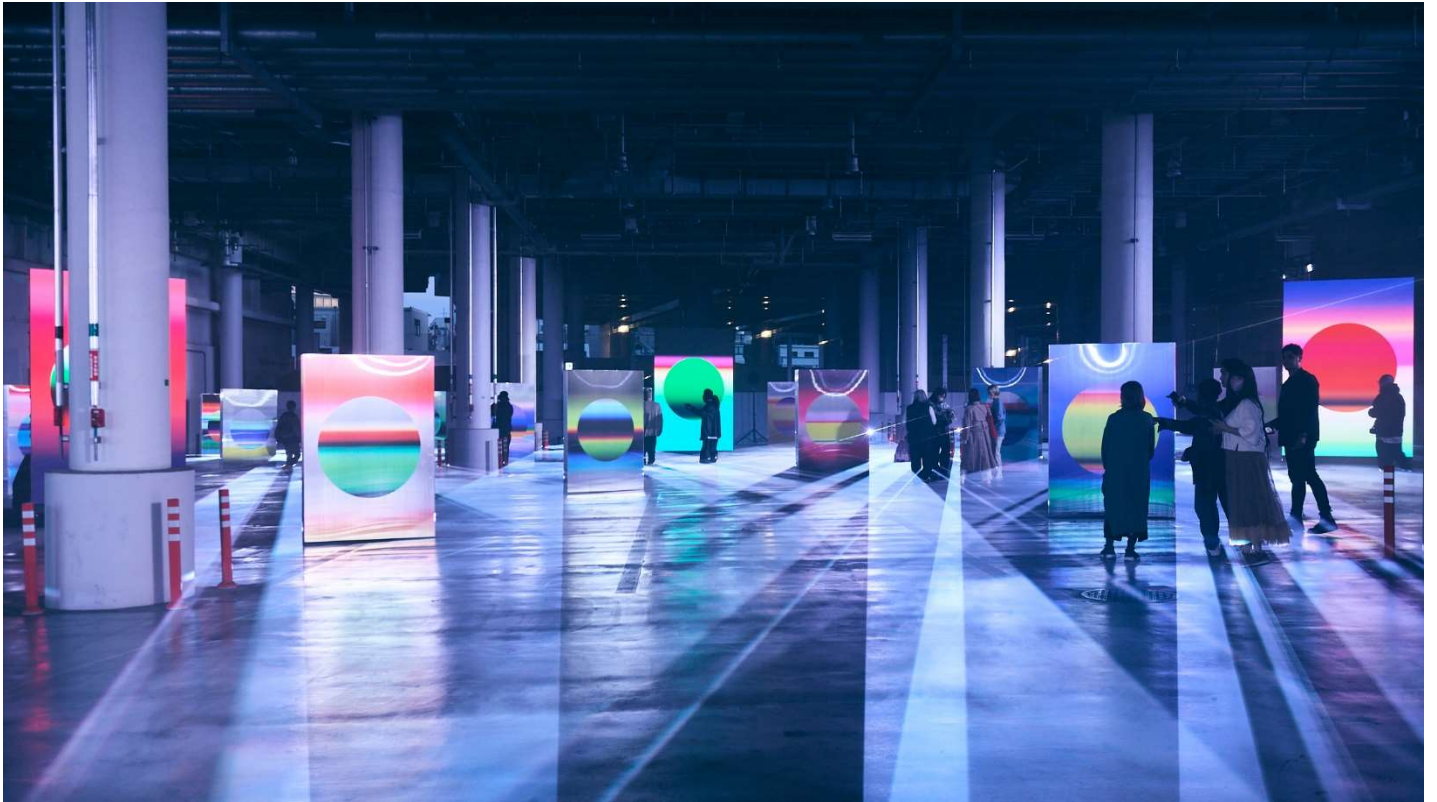


〈ヨシロットン展 彼方との交信／BEYOND EARTH〉 Exhibition Plan

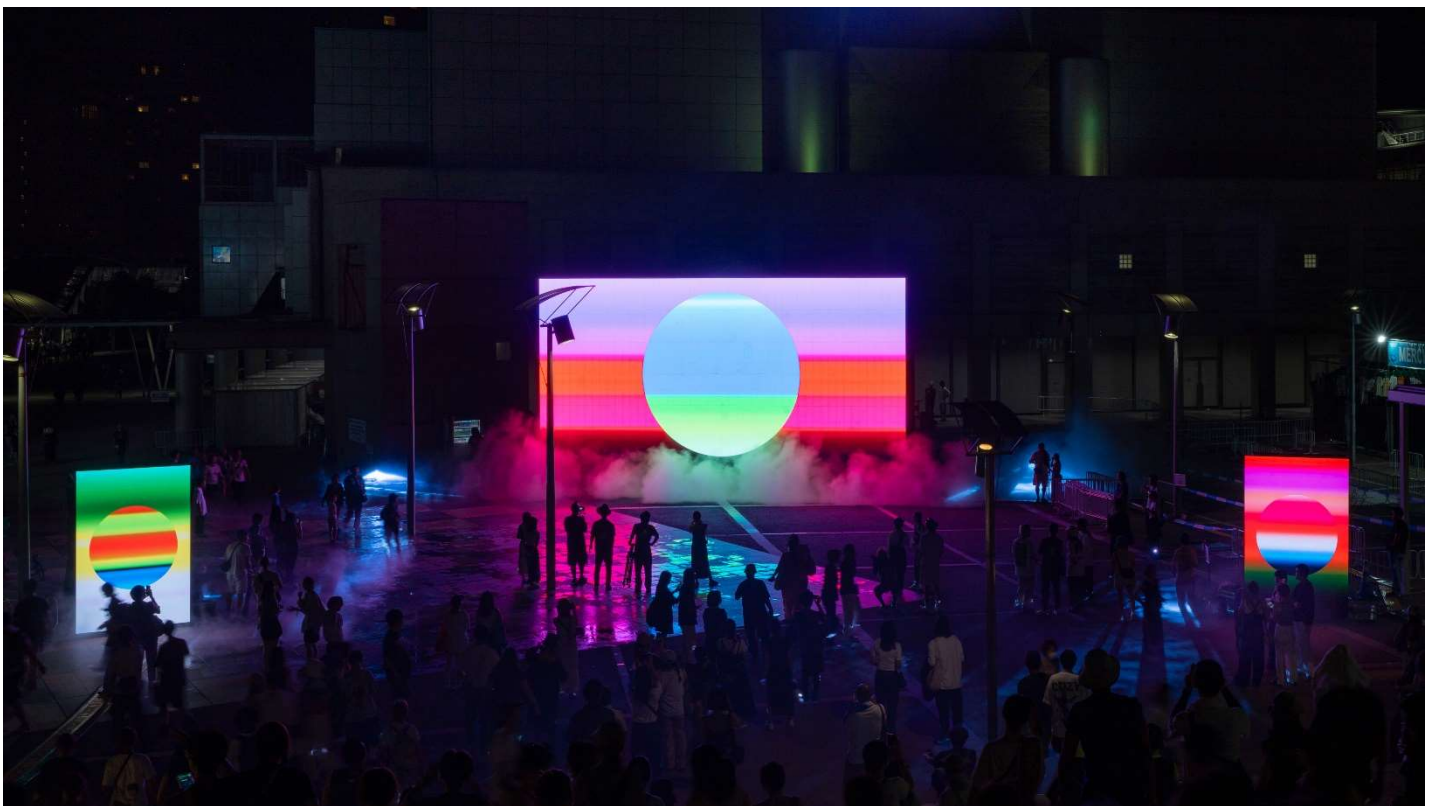
【過去展覧会】



〈YOSHIROTTEN Exhibition FUTURE NATURE〉 2018 Installation View



〈“SUN” YOSHIROTTEN INSTALLATION〉 2023 Installation View



〈MICUSRAT - Loves music and art - SUN/YOSHIROTTEN | Installation in Makuhari New City〉 2023 Installation View



〈鹿児島県霧島アートの森 特別企画展 ヨシロツトン展 FUTURE NATURE II in Kagoshima〉 2024 Installation View

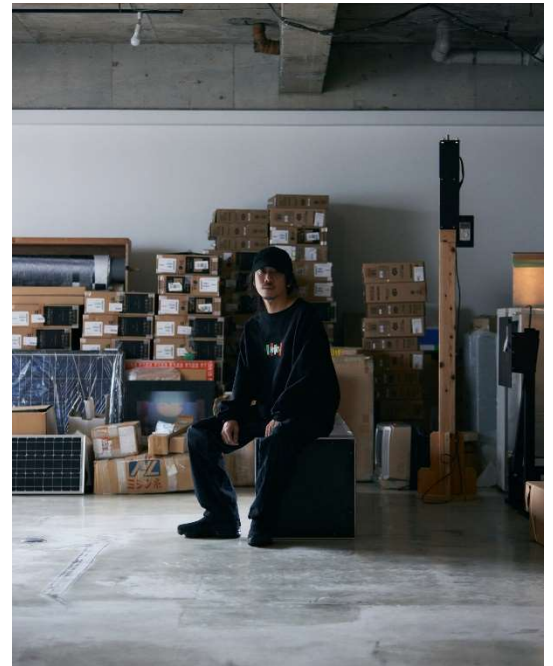
【YOSHIROTTEN プロフィール】

1983 年鹿児島生まれ。「未知なるもの」への尽きせぬ関心を根底に、ファインアートと商業美術、デジタルと物質性、都市文化と自然世界など、複数の領域を自在に往来しながら活動するアーティスト。自身が代表を務めるクリエイティブスタジオ「YAR」では、国内外のミュージシャンや欧米ラグジュアリーブランドをはじめ幅広いクライアントの広告、映像、空間デザインなど、視覚芸術が関わるほぼ全ての領域で膨大な仕事を手がけるアートディレクターでもある。これまでに Hermès、Jaguar、Nike、G-SHOCK、Stevie Wonder、山下達郎、宇多田ヒカル、XG といった世界的ブランドやミュージシャンと協業し、彼らが持つ世界観に応答するように美しい視覚的形式を与える仕事を重ねてきました。

また、キャリア初期より「見えないものの可視化」を軸にファインアートの発表を精力的に続けています。活動初期はサブカルチャーの肖像や記号を引用したコラージュ的な手法から出発し、近年は色彩や地域特有の風土、地球や天体へのリサーチと仮説を基にした S.F.

的な世界観へと深化。2018 年の大規模個展〈FUTURE NATURE〉を経て、2021 年に始動した代表作〈SUN〉シリーズでは、365 枚のデジタルドローイングを起点に、市街地を舞台にした屋外インスタレーションへと表現を拡張してきました。2024 年にはギンザ・グラフィック・ギャラリーで個展を開催し、初の公立美術館での個展〈FUTURE NATURE II In Kagoshima〉を鹿児島県霧島アートの森で実現。2025 年には恒久展示を大谷グランド・センターにて発表しました。ロンドン、ベルリン、ニューヨーク、上海など海外での展示も経験し、現代アーティストとして国際的な認知を着実に積み重ねています。

今回の TOKYO NODE での展覧会は、これまでの実践が結実する場であり、同時に新たな表現の可能性へと向かう試みです。JAXA の協力による宇宙データの可視化に挑むなど、ファインアート領域における到達点を YOSHIROTTEN のキャリア最大規模で提示する記念碑的プロジェクトとなります。



YOSHIROTTEN Portrait

Official Website

<https://yoshirotten.com/>

Instagram

<https://www.instagram.com/yoshirotten/>

「TOKYO NODE（東京ノード）」とは

2023年に開業した「虎ノ門ヒルズステーションタワー」最上部に位置する新たな情報発信拠点。イベントホール、ギャラリー、レストラン、ルーフトップガーデンなどが集積する、約10,000㎡の複合発信施設です。施設内には、ミシュランで星を獲得したシェフによるレストランや、イノベーティブなプレイヤーが集まり共同研究を行う「TOKYO NODE LAB」も併設。NODE＝結節点という名のとおり、テクノロジー、アート、エンターテインメントなどあらゆる領域を超えて、最先端の体験コンテンツ、サービス、ビジネスを生み出し、世界に発信していく舞台となります。

